

開催日：令和 5 年 8 月 17 日

会議名：令和 5 年市民会館跡地等整備対策特別委員会（8 月 17 日）

○西本ちかこ 詳しく映像も見せていただきまして、いよいよ全貌も明らかになってまいりまして楽しみにしております。

私からは 1 点質問させていただきます。

13 ページの寄附・クラウドファンディングの実施についてなんですけれども、こちらの寄附第 4 弾プラネタリウムのクラウドファンディングについて質問をさせていただきます。

こちら 5 月 1 日から 6 月 30 日までの間、171 件、目標額の 150 万円を上回る 162 万 4,000 円が集まったとあります。返礼品が色々ありましたが、返礼品それぞれのクラウドファンディングの金額と募集件数、また、申込件数がどれくらいあったのか、教えていただきたいと思います。

○今西文化振興課長 プラネタリウムのクラウドファンディングの実績についてでございます。

まず、返礼品の内容でございます。

返礼品を想定していないものもございますが、まず、返礼品を設定しておりましたものにつきましては、まず、おにクルの館内の施設見学、こちらが 1 枠お二人までで 100 枠、特別観望会、こちらが 1 枠お二人までで 50 枠、切り絵のワークショップ、こちらが 1 枠お二人までで 40 枠、それ以外に役目を終えた器具等の返礼品としまして、星空絵投影機や椅子の返礼もご用意しておりました。こちらの寄附の下限額の設定でございますが、見学ツアーにつきましては、1 枠 5,000 円、特別観望会につきましては、1 枠 1 万円、切り絵のワークショップにつきましては、1 枠 1 万円、星空絵投影機につきましては、1 件 5 万円、椅子につきましては、1 件 10 万円を設定しておりました。

実績でございますが、見学ツアーにつきましては、100 枠に対して 99 件のお申込み、特別観望会につきましては、50 枠に対して 50 件のお申込み、切り絵のワークショップにつきましては、40 枠に対しまして 12 件のお申込み、星空絵投影機につきましては、4 枠に対して 1 件のお申込み、椅子につきましては、11 件の想定に対して 1 件のお申込みがございました。

○西本ちかこ クラウドファンディングの見学ツアーやワークショップにはたくさんの方々が申し込まれたようで、ツアーが 100 の申込みに対して 99 件で、観望会のほうが 50 枠に対して 50 の申込みということで、市民の皆様の関心の深さがうかがえるんですけれども、高額の 10 万円のプラネタリウムの椅子については 1 件のみ

のお申込みということで、この後、椅子についてはどのように処分をお考えか、この点、お聞かせください。

○今西文化振興課長 プラネタリウムの椅子につきましては、一般の事務用の椅子などに比べますと、重心を保つのが難しいなど、庁内での活用などが難しい側面もございますので、クラウドファンディングでのご要望がなかった分については、今後は廃棄という方向になってまいります。

○西本ちかこ それでは、大阪府で唯一の光学式投影機MS-8について、今後は使用されないということで、周知をどのようにされたかということと、光学式投影機の今後について教えてください。

○今西文化振興課長 現在使っております光学式投影機が最後に、今回おにクル移転に伴いまして、現役を引退するということにつきましては、プレスリリースなども行いまして、また、そういったこれまでの歴史を振り返るようなイベントなどを実施しながら、しっかりとこれまでのMS-8の歴史、歩みというものを市民の皆様にお知らせしてまいりました。

今後につきましては、稼働50周年を超えましたプラネタリウムの光学式投影機ですが、貴重な財産ではございますので、新しいおにクルプラネタリウムのドーム横にオブジェ化して展示してまいる予定でございます。

○西本ちかこ 今後、使用されないということについては残念ではありますが、展示をいただけるということで、これまでの50年という茨木市のプラネタリウムの歴史を知っていただく機会に活用されるということに期待をしたいと思います。

先日の7月22日に、私も「ゆるりレトロプラネタリウム」というイベントの日に参加をしてまいりました。光学式投影機を使用した会で、満員御礼の中でした。スタッフの方の生声での解説は、何とも言えず良い雰囲気、小さな空間で小さいお子さんもたくさんいらっしゃったんですが、皆さん静かに集中をして、終了後も光学式投影機と写真を撮影してはどうですかというようなことでスタッフの方にも促していただきまして、来場された皆さんがとても満足をして帰られる様子がうかがえました。

今回のこのクラウドファンディングにもたくさんの目標数を上回るお申込みもあられるということで、今後に期待したいと思っております。

そこで、最後に、以前の委員会でも質問させていただきましたけれども、指定管理へ移られてからも、このプラネタリウムでお仕事をされているスタッフの方、引き続き継続雇用でお仕事をされるのか。お聞かせいただきたいと思っております。

○今西文化振興課長 現行のプラネタリウム職員の採用状況についてでございますが、おにクルの新しいプラネタリウムでの職員体制が4人従事予定となっておりますが、そのうち2名が現在、本市プラネタリウムに従事する職員を雇用する予定と報告を受けております。

○西本ちかこ 今回、クラウドファンディングでたくさんの寄附が集まりまして、電子観望システムの導入に生かされるということで、本当に市民の方、たくさんの方々の関心の深さがうかがえます。

これからおにクルに移転してからも、様々なイベントを実施していただくよう期待をして、私からの質問を終わらせていただきます。